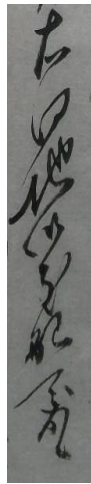
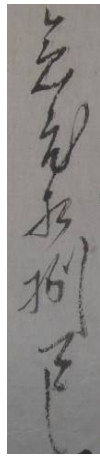


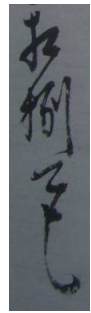
〈古文書入門テキスト 第三章 候文と返読文字 第四回 返読文字って何?〉



右田地御支配可被成候



急度相捌可申候

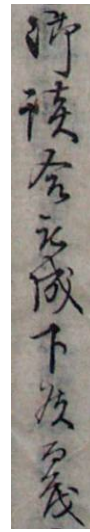
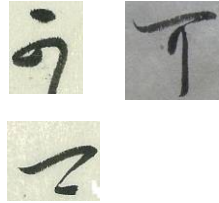


相捌可申候

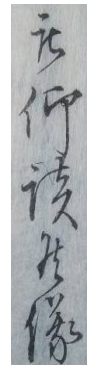


可被下候以上

可
べし



御談合被成下候而茂



被仰談候儀



右田地被差戻被下度

被

られる
る
らる



実正其紛無御座候

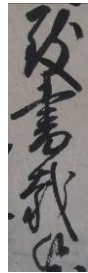
無

くなく

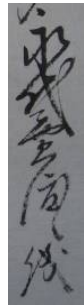


有

くあり



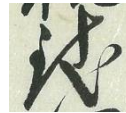
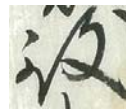
致書載候



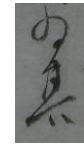
永代売渡候儀致存候

致

いたす



為其奥印如斯御座候已上



如

ごとし



為

なす
す
して
ため

